

決算報告

9月に開催された市議会において、平成20年度の一般会計と特別会計（11会計）、水道事業会計、リフト事業会計の合わせて14会計の決算が承認されました。今回は、その内容についてお知らせします。

一般会計
歳出 385億7,697万円

	総務費 47億5,391万円(12.3%)
	民生費 88億8,640万円(23.0%)
	衛生費 37億8,485万円(9.8%)
	農林水産業費 10億7,962万円(2.8%)
	商工費 37億2,900万円(9.7%)
	土木費 34億3,927万円(8.9%)
	教育費 46億2,176万円(12.0%)
	公債費 58億3,597万円(15.1%)
	そのほか 24億4,619万円(6.4%)

差引額 17億178万円

◎**一般会計**
平成20年度の一般会計の決算額は、歳入が402億7,875万円(対前年度比1.3%減)、歳出が385億7,697万円(対前年度比2.7%減)でした。差引額の17億178万円は平成21年度へ繰り越しとなります。

歳入のうち、市税など市の自主的な収入である自主財源は195億7,675万円(48.6%)、国や県から交付される地方交付税や国庫支出金、市債などの依存財源は207億200万円(51.4%)でした。

歳出は、民生費が88億8,640万円(23.0%)と一番多く、次いで公債費が58億3,597万円(15.1%)、総務費が47億5,391万円(12.3%)の順となりました。

◎**特別会計**
平成20年度の特別会計の決算額は、医療制度改革に伴う老人保健事業会計の縮小により、歳入が22億145万円(対前年比25.2%減)、歳出が218億149万円(対前年比25.7%減)でした。差引額の3億9,996万円は平成21年度へ繰り越しとなります。

◎**リフト事業会計**
平成20年度の収益的収支(事業運営を目的とした収入と支出)における収入(リフト使用料など)は1億45万円(消費税込み)、支出(リフト管理費など)は8,944万円(消費税込み)で、差し引き1,101万円(消費税を抜いた純利益は1,032万円)となりました。

資本的収支(施設整備を目的とした収入と支出)における収入は0円、支出は1,424万円(消費税込み)でした。不足額は、当年度分の消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金(リフト事業施設などで過年度に発生した減価償却費など)で補てんしました。

◎**水道事業会計**
平成20年度の収益的収支における収入は22億2,126万円(消費税込み)、支出は21億3,686万円(消費税込み)で、差し引き8,440万円(消費税を抜いた純利益は5,220万円)となりました。

資本的収支における収入は6億1,010万円(消費税込み)、支出は15億4,506万円(消費税込み)でした。差し引き9億3,496万円の不足は、過年度分損益勘定留保資金(水道施設などで過年度に発生した減価償却費など)で補てんしました。

くわしくは

▼一般会計と特別会計については
財政課 ☎(21)5162

▼水道事業会計については
水道課 ☎(21)4532

▼リフト事業会計については
リフト事業所 ☎(53)0525

一般会計
歳入 402億7,875万円

市税 151億2,480万円(37.6%)	自主財源(48.6%)	
繰越金 11億6,743万円(2.9%)		
諸収入 14億6,294万円(3.6%)		
そのほか 18億2,158万円(4.5%)		
地方交付税 77億4,118万円(19.2%)	依存財源(51.4%)	
国庫支出金 32億7,212万円(8.1%)		
県支出金 27億9,868万円(7.0%)		
市債 49億2,110万円(12.2%)		
そのほか 19億6,892万円(4.9%)		

特別会計決算額

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	100億8,930万円	98億4,563万円	2億4,367万円
後期高齢者医療事業	7億8,874万円	7億7,316万円	1,558万円
老人保健事業	10億1,797万円	9億8,854万円	2,943万円
介護保険事業	49億2,504万円	48億7,708万円	4,796万円
診療所事業	1億2,746万円	1億1,958万円	788万円
自家用有償バス事業	4,832万円	3,742万円	1,090万円
公設卸売市場事業	2,265万円	1,978万円	287万円
温泉事業	1億1,078万円	1億0,951万円	127万円
銅山観光事業	1億314万円	8,945万円	1,369万円
下水道事業	49億5,292万円	49億2,621万円	2,671万円
公共用地先行取得事業	1,513万円	1,513万円	0万円
計	222億145万円	218億0,149万円	3億9,996万円

リフト事業会計決算額

	収入	支出	差引額
収益的収支	1億45万円	8,944万円	1,101万円
資本的収支	0万円	1,424万円	△1,424万円

水道事業会計決算額

	収入		支出		差引額
収益的収支	水道料金	21億76万円	借入金の利息返済	3億2,520万円	
	その他	1億2,050万円	減価償却費	8億8,121万円	
			その他	9億3,045万円	
	合計	22億2,126万円	合計	21億3,686万円	8,440万円
資本的収支	国などからの補助金	8,568万円	施設などの整備費用	6億5,923万円	
	国などからの借入金	4億9,280万円	借入金の元金返済	8億8,583万円	
	その他	3,162万円			
	合計	6億1,010万円	合計	15億4,506万円	△9億3,496万円

収益的収支とは…事業運営を目的とした収入・支出のこと 資本的収支とは…施設整備を目的とした収入・支出のこと
△はマイナス、すべて消費税込みの金額

1人当たりに使われたお金の内訳

使われたお金を市民1人当たりに分けてみると、**415,351円**でした。その内訳は下のとおりです。

※平成21年3月31日現在、住民基本台帳92,878人で計算しています。

総務費 51,184円	企画や財政、人事、税金などの事務に関する経費
民生費 95,678円	幼児や高齢者、体の弱い方などを援助するための経費
衛生費 40,751円	市民の皆さんの健康を守ったり、ごみを処理したりするための経費
農林水産業費 11,624円	ほ場や農道、林道、森林を整備・維持管理するための経費
商工費 40,149円	商工業の支援・育成や地域再生事業、観光イベントを行うための経費
土木費 37,030円	道路や市営住宅を整備したり、区画整理を行ったりするための経費
教育費 49,762円	学校の運営や社会教育、文化・スポーツを充実するための経費
公債費 62,835円	借入金の元金や利子を返済するための経費
そのほか 26,338円	議会費、労働費、消防費など